

バリアフリーまちづくり通信

発行: 東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和8年7月号



大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話: 06-4809-9927
←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています

第62回 まちづくり構想部会を開催しました 令和8年7月9日

東淀川区西部地域における各地域での活動状況などについて、話し合いました。

地域での 活動報告

【新庄地域】

◆地域保健福祉計画は、当初策定から7年目となり古くなってきたため見直しを進める。見直しの一例として、今回は「FMコミュニティ」を提案したが、現在はLINEなどのSNSによる情報発信が効果的なこともあり、そのような点を見直す。

【淡路地域】

◆淡路地域周辺の変化をマップに落とし込むと地域の変化が見えやすくなるため「まちの変化マップ」を作成した。地域が「変化の途中にある」ことを実感し、今後のアクションプランの議論に活かせればと思う。

【啓発地域】

◆未来会議で5つのアプローチ案を作ったが、最終的に高校生から実現したいと意見があった「お泊まり企画(避難訓練)」に決めた。高校生を10年20年後の担い手に育てたいと思い、彼らの意見を尊重しながら、大人がサポートして進めている。

【東淡路・柴島地域】

◆アクションプランを今後3回くらいのワークショップでまとめる。できるだけ幅広い世代に参加してほしい。地域の小学校で未来のまちを考えることをしてきたので、保護者の方にも地域の動きを伝えている。今後は参加者を集めることに力を注いで、よいワークショップにしたい。



意見交換

- ◆子どもを中心に据えた取組に関して、行事のほとんどは子どもが中心であり、「将来、下新庄で住み続けてもらうためにも、中学校、高校で活躍してくれる未来の卵なので、大事にしたい」という意見があった。
- ◆大学との連携については、地域活動においてつながりがあるものの、「学生は入れ替わりがある」ことや、「遠方からの学生は就職すると来られなくなり、関係の継続が難しい」のが共通の悩みとしてあった。
- ◆近畿大学 久名誉教授から、高校生に企画を任せることに関連し、「企画するときに知恵を出す、企画力を持った地域の人たちが増える。企画力が向上して人が繋がれば、地域力がアップすることになる」、啓発地域においては、「高校生の企画力のアップが図れる。高校生は3年経ったら大学生になり、代々繋がっていく」とのお話がありました。
- ◆また、東淡路・柴島地域のはぐくみネットが、学校と地域を繋いでいることに関して、「はぐくみネットのコーディネーターが元気なところは、地域が元気になり、学校と地域がうまくやっている。はぐくみネットのコーディネーターと、一緒にやれば、はぐくみネット側も助かる」とのお話もありました。
- ◆最後に、高校生をその気にさせる1つの方法として、地域活動や市民活動の経験をプレゼンで発表して選抜する大学の総合型選抜入試があることや、「父親、母親が地域で働いていると、子どもはその背中を見て育ち機会を提供すると地域活動に入ってくる可能性はとても大きいと期待している」とのお話もありました。